



### 1 「健康長寿のまち・京都」の実現に向けた、市民主体の健康づくりの推進

#### 「健康長寿のまち・京都市民会議」の設立(平成28年5月9日)

- オール京都で市民主体の健康づくりを推進する運動組織として、幅広い分野から90を超える市民団体、関機団体、民間企業等が参画。
- 2千件を超える応募作品の中から「健康長寿のまち・京都」の実現に向けたキャッチコピーとして、「まちぐるみ みんなで健康 いきいき京都」を選定し(ロゴマークも同時に選定)、普及啓発を実施。



#### 多世代交流・学習型イベントの開催

- 平成28年6月4日、「健康長寿のまち・京都市民会議」の正式発足を記念したイベントを開催。
- 市民の皆様が健康づくりについて考えていただくきっかけとなるよう、平成28年11月に、「エコまちフェスタ」、「やんちゃフェスタ」等、5つのイベントの合同イベントとして、「健康長寿のまち・京都いきいきフェア」を開催。



#### 広報活動の推進

- 「京都市健康大使」に、本田紗来ちゃん、朝原宣治氏・奥野史子氏夫妻、市田ひろみ氏、千玄室大宗匠、宮崎秀吉氏が就任。
- 健康づくりに関する情報を一元的に発信する新たなポータルサイトの開設や、お出かけイベント情報誌、テレビCM等、様々な媒体を活用して広報活動を推進。

#### 健康ポイント事業の新規実施(平成28年8月開始)

- 楽しみながら健康的な習慣づくりができるよう、健康的な活動ごとにポイントを貯めて、日々の活動の成果を「見える化」し、貯めたポイントによって、抽選で景品がもらえる「健康長寿のまち・京都 いきいきポイント」を開始。



## 2 希望出生率「1.8」の実現に向けた、妊娠・出産・育児の切れ目のない支援

### 不妊に悩む方への支援の拡充

- 平成28年1月20日以降に、特定不妊治療を受けられた場合の医療費助成について、初回の助成額を、これまでの15万円から30万円に拡充。
- 平成28年11月に、不妊の原因の約半数を占める男性不妊症について、市民の皆様の理解を深めるための市民公開講座を開催。



### 京都版「ブックスタート」事業の新規実施(平成28年6月開始)

- 保健センターの8か月児健診で、ボランティアによる絵本の読み聞かせと合わせ、5冊の絵本の中から保護者が希望する1冊と手提げ袋などの「読み聞かせスタートパック」を贈呈。
- 身近な地域の書店や、図書館にも「ブックスタートコーナー」を設け、地域ぐるみで絵本に親しむきっかけづくりを推進。



### 思春期保健対策の強化(次世代はぐくみプロジェクト)

- 中学生・高校生が、将来希望するライフデザインを実現することができるよう、赤ちゃん人形を活用した授業や、妊婦体験などの体験型の思春期保健健康教育を実施。
- 思春期の子どもたちと関わりを持つ学校保健、医療機関、大学生ボランティアの参画により、思春期保健を推進するためのネットワークを構築。



### 妊娠から出産・育児を通じた包括的支援の推進

- 「子育て世代包括支援センター」である各区の保健センターにおいて、担当制による保健師が、妊婦全数面接を通じて、悩みや心配事を聴き取り、一人ひとりの妊婦の方に、出産、育児に必要なサービスを丁寧に案内するなど、切れ目のない支援を実施。

本市合計特殊出生率：1.26（平成26年）→1.30（平成27年）

### 3 食に関する新たな計画のスタートに合わせた、食を通じた健康づくりの推進

#### 「第2期食の安全安心推進計画」(平成28年3月策定)の推進

- 「食品衛生監視指導計画」に基づき、食品関係施設に対する監視指導を実施し、和食や和菓子等「京の食文化」を支える食品の安全性の確保や事業者による更なる自主衛生管理を推進。
- 近年、若年層において、鶏肉の生食や加熱不足が原因となるカンピロバクターの食中毒が増えているため、若年層に有効な情報発信のツールとして、京都市食の安全安心啓発キャラクター「おあがりス」のFacebookを開設し、食中毒予防や食品安全情報を発信。



#### 「健康長寿のまち・京都食育推進プラン」(平成28年3月策定)の推進

- 若い世代や壮年期の食生活の改善に向け、これらの世代の方々が多く利用する外食・中食・事業所給食施設等で提供される健康的な食事メニューを提案するため、「食の健康づくりハンドブック」を作成、関係施設等へ配布。
- 地域における食育活動の担い手である食育指導員の活動の場の拡大に向け、食育指導員によるグループ単位での自主的な活動に対し、補助金を交付する制度を創設。



### 4 すべての市民のいのちと健康を守るための、感染症対策の推進

#### 肝炎対策の推進

- 平成28年10月から開始したB型肝炎ワクチンの定期接種化について、対象者に個別通知による案内を行うなど、円滑な接種体制を構築。
- 肝炎ウイルス検査の結果、陽性となった方に、精密検査や定期検査の受診状況等をお尋ねし、確実な治療につなげる「フォローアップ事業」について、引き続き実施。

#### 結核対策の推進

- 結核患者の約7割を高齢者が占めていることから、高齢者施設における結核患者の発生や、集団感染防止のため、平成28年10月に、「高齢者施設における結核対策の手引き」を作成し、市内の関係施設に配布。



## 熊本地震に伴う支援について

### 保健活動班の派遣

- ・ 最大震度7を2回記録した益城町に避難者への健康調査や健康相談等を行う保健師チームを派遣
- ・ 混乱を極める中で、他の支援都市に先駆けて保健活動を開始。避難者名簿の作成を主導したほか、管理栄養士を派遣し、食事管理や避難者への栄養相談を行うなど、避難所運営においてリーダーシップを発揮

#### <保健師派遣> (業務調整の事務職含む)

派遣期間：4月17日～6月11日

派遣人数：62名

#### <管理栄養士派遣>

派遣期間：5月1日～5月14日

派遣人数：4名

